

魚に魅せられた二人の画家

透き通るような水彩絵具をもじいて細やかな筆遣いで魚を描き、「魚譜画家」として注目をあつめる、長嶋祐成(1983年-)と昭和初期に「魚の画家」として名声を博した日本画家、大野麥風(1888年-1976年)。魚に魅せられた二人の画家の展覧会を開催します。

魚のしなやかな動きや鱗の輝きなど、生態をつぶさに観察して描かれた作品は、画家の生物そのものに対する好奇心に満ちた眼差しによって、親しみやすさと愛らしい魅力をたたえています。

大阪に生まれた長嶋祐成は、幼い頃の釣り体験をきっかけに魚に魅せられ、魚を描くことを通して水辺から得る素晴らしい自然を未来へと引き継ぐことを目指し活動しています。国内外からの依頼にこたえて様々な魚を描くほか、自らの文章を添えた絵本や図鑑など出版活動でも魚の魅力を発信しています。

明治期に東京に生まれた大野麥風は、洋画を学んだ後に日本画に転向し、関東大震災後、関西に移り住み、兵庫県西宮市で長く活動しました。特に魚を好んで描き、代表作『大日本魚類画集』は、大野が描いた原画を木版画職人による「原色木版二百度手摺り」ともうたわれた高度な技で摺り上げられた美しい版画集で、出版当時に好評を博しました。

本展では、姫路市立美術館が所蔵する『大日本魚類画集』の全72点の中から、大阪湾近海で見ることができる身近な魚たちを中心40点を選び、長嶋が描いた日本の海に生息する彩り豊かな魚たち約60点を加えて一堂に紹介します。また、開催地である尼崎の海の歴史を伝える資料展示や、様々な関連プログラムもあります。魚の絵を通して日本の豊かな海の恵みを感じてください。



9《マサバ》

長嶋祐成 (ながしま ゆうせい 1983年-)

大阪府生まれ。京都大学総合人間学部卒。デザイン会社勤務などを経て、2016年4月石垣島に移住。個展での作品発表の他、絵本『きりみ』(河出書房新社 2018年)、『THE FISH 魚と出会う図鑑』(河出書房新社 2020年など書籍の出版や様々な媒体への作品提供、京都水族館、陸前高田市立博物館などに展示用の作品制作を委託されるなど、幅広く活躍している。

大野麥風 (おおの ばくふう 1888年-1976年)

東京都生まれ。洋画を学んだ後、日本画に転向。関東大震災を機に兵庫県西宮市に移り住み、同地を拠点に日本画家として活躍。1937年に西宮書院から出版された版画集『大日本魚類画集』では原画を担当した。2010年に姫路市立美術館、2013年に東京ステーションギャラリーにおいて個展が開催され、今なお多くのファンを魅了している。



への
まなざし

—長嶋祐成と大野麥風—

2023

5 / 27 (sat) ~ 7 / 2 (sun)

開館時間：10時—17時（入場は16時30分まで）休館日：火曜日

入館料：一般 700円 シニア(65歳以上)・大高生 600円 中学生以下 無料
障がい者手帳等をご持参の方は半額、その介助者の方1名は無料。

主催：公益財團法人尼崎市文化振興財團

後援：尼崎市、尼崎市教育委員会

協力：姫路市立美術館、尼崎市立歴史博物館、ネイチャークラブ
株式会社尼漁開発、尼崎運河○○クラブ
武庫川魚港ことぶき食堂

特別協力：船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

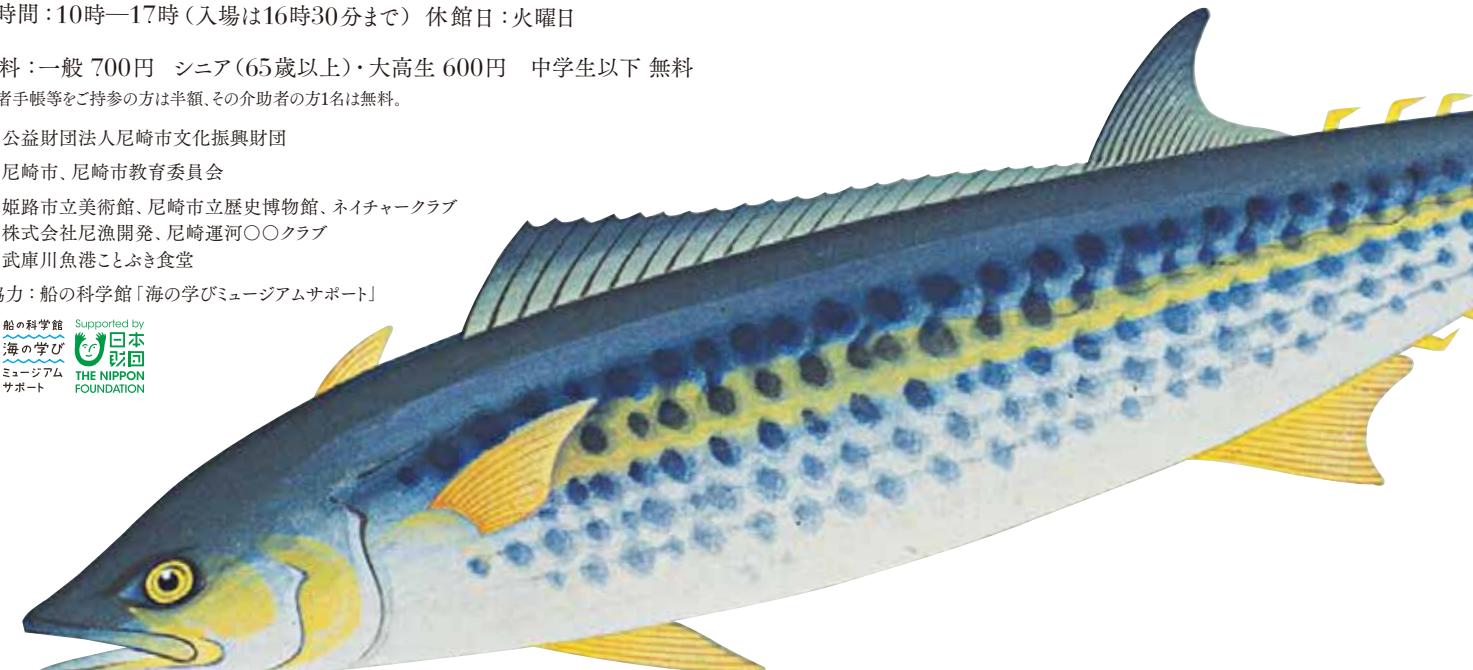
船の科学館
海の学び
ミュージアム
サポート
Supported by
日本財團
THE NIPPON FOUNDATION

図版上：長嶋祐成《マサバ》(部分) 2023年 水彩・紙 作家蔵
図版下：大野麥風《サワラ》(部分)『大日本魚類画集』所収 1943年 木版・紙 姫路市立美術館蔵

Gaze at the fish

NAGASHIMA Yusei

OHNO Bakufu



尼崎市総合文化センター 美術ホール5F

〒660-0881 尼崎市昭和通2-7-16 Tel.06-6487-0806

関連事業（尼崎市総合文化センター会場）

1—長嶋祐成 アーティストトーク

「いまこの瞬間を生き、そあるものを描く」

5月27日(土) 15:00 ~ 16:30

対象：どなたでも 定員：30名(事前申し込み)

参加費：無料(要・展覧会チケット)

2—長嶋祐成 ワークショップ

「尼崎の水の生き物を描こう」

①5月28日(日) ②7月1日(土)

いずれも 13:00 ~ 16:00

対象：小学生以上 定員：各15名(事前申し込み) 参加費：無料

3—学芸員による作品解説会

6月10日(土)、24日(土) 15:00 ~ 16:00

対象：どなたでも 定員：20名(当日先着)

参加費：無料(要・展覧会チケット)

4—「さかなの日」スペシャル

毎月3日から7日の「さかなの日」にちなみ、尼崎の魚を食べたり、ゲームで楽しく学びましょう。

6月3日(土)、4日(日)

①魚つりゲーム

『尼崎産魚』に描かれている魚のイラストを釣り上げて遊びます。

参加費：無料(要・展覧会チケット) 申し込み：不要

時間／場所：10:00 ~ 17:00、4階展示室内

6月5日(月)

②尼崎のお魚弁当

尼崎で釣れた魚を釣り人から分けてもらうフィッシュ・シェアリングに取り組む、武庫川魚港「ことぶき食堂」によるお弁当を販売します。

数量：両日 各37個(先着順) 價格：500円(税込)

販売時間／場所：当日12:00 ~、尼崎市総合文化センター 4階エレベーター前

海の学びフェス（野外会場）

6月18日(日) 会場：尼崎運河（北堀キャナルベース）

(1)尼崎運河クルーズ

キャナルガイドの解説を聞きながらボートで運河を巡ります。

◇ 1回目10:00 ~ ◇ 2回目11:00 ~

参加費：無料 対象：中学生以上 定員：各回8名

(2)環境学習

「尼崎の海を知ろう」

尼崎運河周辺の生物調査や観察、水質浄化活動を通じて、命のつながりや持続可能な社会について学びます。

◇ 10:30 ~ 11:30

講師：中岡禎雄(ネイチャークラブ)

参加費：無料 対象：小学生以上 定員：20名

6月25日(日) 会場：尼崎運河（北堀キャナルベース）

(3)パドルボート体験 (SUP Canal Cruising)

パドルボートを自分で漕いで尼崎運河の水上さんぽを楽しめます。

◇ 1回目9:30 ~ ◇ 2回目11:00 ~ (各回1時間程度)

参加費：2,000円(レッスン料、レンタル料、保険料込み)

対象：中学生以上 定員：各回4名

3—作品解説会と4—「さかなの日」スペシャルをのぞくすべての催しは事前のお申込みが必要です。以下の申込先に5月6日(土) ~ 21日(日)の間に電話でお申込みください(先着順)。

お問い合わせ・申し込み先：尼崎市総合文化センター 文化課美術担当
TEL.06-6487-0806 (10:00 ~ 17:00)

*ご来場の皆様へ：ご入場の際は手指の消毒など、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにご協力をお願いします。

Access

■阪神尼崎駅より立体遊歩道で徒歩約5分(国道2号線沿い)

■JR尼崎駅より阪神バス駅南側4番のりば→阪神尼崎行「尼崎総合文化センター」下車

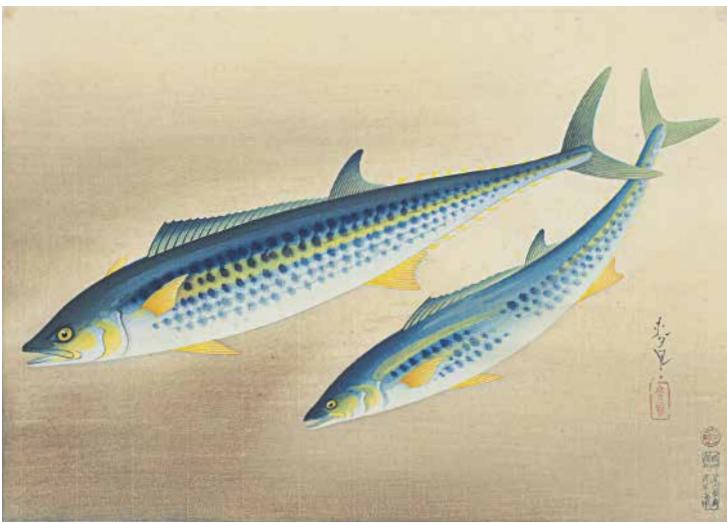
■阪急塚口駅より阪神バス→「昭和通」下車

■阪急バス→「尼崎総合文化センター」下車

■※阪神バスは尼崎市内線

■有料駐車場あり(30分200円/1日最大1,000円・普通車)

尼崎市総合文化センター | www.archaic.or.jp



1《サワラ》



2《ホウボウ》



3《イトリ》



4《オコゼ》



5《ハコフグ》



6《カサゴ》



7《スズキ》



8《マダコ》



図1-4

大野麥風『大日本魚類画集』所収 1937-44年 木版・紙 姫路市立美術館蔵

図5-9

長嶋祐成 水彩・紙 2022-23年 作家蔵

図10『尼崎産魚』尼崎市立歴史博物館蔵